



かわさき3Rニュース



かわさき3R推進キャラクター
かわるん

～ごみ減量 未来へつなげる エコ暮らし～

第45号

令和4年2月発行

粗大ごみリユース事業の実証実験中です！

本市では、市民の方々のごみ減量に対する理解と行動により、ごみ焼却量は減少傾向にあるものの、一方で、粗大ごみ収集量は年々増加している状況にあります。

焼却ごみの削減は、単純なコスト減だけでなく、2050年の脱炭素社会の実現に向けても重要な取り組みであることから、この度覚書を締結し、令和3年10月1日から民間事業者と連携して、粗大ごみリユース事業の実証実験を実施中です。(10月1日～3月31日)

以下の民間事業者を活用すれば、短期間での引取りが可能です。粗大ごみとして出すのではなくリユースを検討してみませんか？※連携事業者を利用した際のトラブルや損害等について、本市は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

おいくら【株式会社マーケットエンタープライズ】

- 家具や家電等の大型品から、本、CD、ブランドなどの小型品まで幅広いジャンルの不要品に対応
 - 無料で利用可能
- (注) 再販できる品物が買取の対象



ジモティー【株式会社ジモティー】

- 0円で投稿すれば、即日引き取り先候補から連絡あり
- 会員登録、出品の手数料等なく、すべて無料
- スマホやパソコンで誰でも簡単に利用可能



eco-wa-ring Kawasaki (エコワリング川崎) の取組について

この取り組みは、環境省の令和3年度食品ロス削減・食品リサイクル推進モデル事業の1つとして採択されており、市内の家庭から排出される生ごみを各家庭で生ごみ処理機等を用いて堆肥化し、できた堆肥を市内の農園等で活用し、安心安全な野菜を作り、食すといったフードサイクルの取組です。令和3年度には、各施設でイベントなどを実施しました！



【問1】 ミックスペーパーの出し方として正しくない方法は、次のうちどれでしょう
①透明・半透明の袋に入れる ②紙袋に入れる ③包装紙などに包む

令和3年度3R推進講演会(オンライン開催)を配信しています！

今年で第40回目となるごみの減量・リサイクルをテーマとした「3R推進講演会」の開催は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン開催とし、川崎市公式Youtubeチャンネルで配信しています。(令和4年3月28日まで)

講演内容は、日本財団「海と日本プロジェクト」の活動の一つである「海の落語プロジェクト」より落語家の立川こしら氏をお招きし、海洋ごみ問題をテーマとした「落語で学ぶ海洋ごみ問題」の動画と「川崎市のごみ削減等の取組」をテーマとした「エシカルWAVES for SDGs (ラジオ日本)」の計2本立てとなっています。二次元コード又は下記URLからぜひ御覧ください。

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000136175.html>



食品ロス削減のために

日本では年間600万トンもの食品ロスが発生しています。これはなんと国民1人1日あたりお茶碗1杯分のご飯を捨てているのと同じ量に相当します。こうした食品ロスを削減するため、令和元年10月に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行されました。この法律では、消費者、事業者等に対する教育・学習の振興、知識の普及・啓発などを実施することとしています。

食品ロス削減協力店(旧：食べきり協力店)の取組がスタート

食べきを推奨している飲食店等を認定する「食べきり協力店」について、制度の見直しを行い、新たに「食品ロス削減協力店」がスタートしました。飲食店における食べ残しを減らす取組に加え、食品小売店における小分け販売や量り売りなど、消費者が食べきりやすくする取組も広く認定し、川崎市のホームページで紹介しています。



川崎市 HP「食品ロス削減協力店」

セブン-イレブン・ジャパンと連携した「てまえどり」 —事業者と連携した食品ロス削減の取組—

消費者の日頃の買物の中で、購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前にある商品等、販売期限の迫った商品を積極的に選ぶという「てまえどり」については、販売期限が過ぎて廃棄されることによる食品ロスを削減する効果が期待されます。本市では、令和3年10月から約1か月間、株式会社セブン-イレブン・ジャパンと連携し、市内のセブン-イレブン店舗において、おにぎり等の陳列された商品を手前からとることで食品ロス削減につなげようとする「てまえどり」のキャンペーンを実施しました。



2

【問2】の答え ①・・・昭和13年 昭和13 (1938)年から市のごみ収集を開始しました。
また、昭和30年には、日本初の自動車によるごみ収集を開始しました。

【問2】川崎市でゴミ収集を始めたのはいつでしょう？

①昭和13年(1938年) ②昭和30年(1955年) ③昭和44年(1969年)

第2回ごみゼロカフェを開催しました!!



今年度第2回目のごみゼロカフェでは、株式会社モノファクトリーの河西桃子さんをお招きし、「いろいろな“モノ”が“アート作品”に変身!？」をテーマに、講演や廃材を活かした工作を通じて、「不用品は、廃棄することが前提ではなく、再利用や使い続けること、循環させることが大事である」ことを参加者の皆さんに体感していただきました。

河西さんによる講演の様子 時間を忘れて作品作りに没頭! 様々なアート作品が完成!



第3回目のごみゼロカフェ等のイベントについてはツイッター「川崎市3R 情報」でお知らせしていますので、ぜひフォローをお願いします!



川崎市 3R 情報



ふれあい出張講座について

川崎市では、身近なゴミについて考える環境教育・学習の取組として、町内会・自治会などを対象とした「ふれあい出張講座」を実施しています。

ゴミの正しい分け方や出し方、リサイクルの大切さなどについて、お住まいの地域を担当する生活環境事業所の職員がお伺いし、講座を行います。お申込みは各生活環境事業所まで。

職員が分かりやすく説明!

かわるんに会えるかも!



【問1】の答え ①・・・ミックスペーパーは、ポリ袋やレジ袋に入れて出すとリサイクルの妨げになります。食品の紙製外箱やティッシュペーパーの空き箱に入れて出す方法もあります。

王禅寺エコ暮らし環境館 春のミニイベントのお知らせ

麻生区の王禅寺エコ暮らし環境館では、次のとおり「春のミニイベント」を開催します。
様々なイベントがありますので、ぜひご来館ください。

- ◆開催期間 令和4年3月19日(土)
- ◆開催時間：10時～15時(開館時間：9時～16時30分)
- ◆参加費無料

イベント名

リサイクル工作教室

たねダンゴ作り

スタンプラリー

花時計 花の植替体験

スケルトン車展示・ごみ投入見学

分別釣りゲーム



(スケルトン車)



(花の植替体験)

※一部事前予約【3月12日(土)～】や当日先着順のものがありますので、お気軽にお問い合わせください。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、掲載されている内容は中止・変更になる場合がございますので、ホームページにて最新情報をご確認ください。



問い合わせ：王禅寺エコ暮らし環境館 電話 044-712-4637 FAX 044-712-4638
URL <https://www.eco-kankyokan.jp/>

令和4年4月1日から集積所及び資源集団回収場所からの資源物等の持ち去りを条例で禁止します。

【概要】

- 集積所からの行政収集対象品目(空き缶や粗大ごみ等)の持ち去り禁止
- 資源集団回収場所からの資源集団回収品目(古紙、ダンボール等)の持ち去り禁止

【持ち去りを発見した場合】

- 持ち去り行為者を発見した場合、トラブルに発展する可能性もあるので、直接声をかけることは避け、生活環境事業所へ連絡をお願いします。
- 現場所在地、行為者の人数や特徴、使用した車のメーカーなどわかる範囲でお知らせください。

〈注意〉

- 集積所を管理している方などから、直接譲り受けている場合は、持ち去りには該当しません。
- 集積所を利用する方などが清掃活動として行う整理や移動等は該当しない場合があります。
- 資源物等を運搬するだけの行為は、持ち去りの対象ではありません。